

2023 2/28

No.2181

毎月第2・第4火曜日発行

政経 かながわ

一般社団法人
— 神奈川政経懇話会 —



春の登山シーズンを前に、県警などは、横浜港山下ふ頭の「GUNDAM FACTORY YOKOHAMA」で担架の搬送など山岳遭難救助訓練を行った。ガンダムは来年3月末まで公開延長する。



視点点描	
教訓に学び地震対策を	3
デモクラシーの現場から	
アベノミクスの「次」を占う日銀総裁人事	4
国 際	
ロシアのウクライナ侵攻1年 今後半年間が大きなヤマ場に	6
社 会	
孤立深める妊婦をゼロに 児童虐待死の半数は0歳	10
政治双眼鏡	
安倍元首相の遺志継ぐ菅氏 「岸田降ろし」を首相側は警戒	12
風のたより～地域経済	
CMにみる女性活躍変遷	13
神奈川景気データファイル	
	14

事務局だより

◇2023年3月の講演会

3月2日(木)午後1時30分～3時00分

メルヴェーユ「ヴァランセ」(県民共済プラザビル)

講師: 2027年国際園芸博覧会
協会事務次長

小林 一美 氏

演題: 「2027年国際園芸博覧会
会の開催に向けて」

◇2023年4月のシンポジウム

4月17日(月)午後1時30分～3時00分

県民共済みらいホール(県民共済プラザビル)

講師: 横浜岡田屋4代目

岡田 伸浩 氏

天吉5代目

原 茂男 氏

泉橋酒造6代目

橋場 友一 氏

演題: 「暖簾をつなぐ」

※新型コロナの感染拡大の状況によって中止する場合があります。

【お知らせ】神奈川政経懇話会では、会報「政経かながわ」に会員コーナーを設け、新商品の紹介、地域貢献活動、人事などジャンルを問わずさまざまな会員情報を掲載しています。掲載の問い合わせなどは事務局 ☎045 (226) 2121。

視点 点描



教訓に学び地震対策を

ほぼ垂直に折り重なるようにつぶれた建物が、揺れの激しさと構造の弱点をあぶり出していた。

2月上旬、トルコ南東部で起きた大地震。平たく押しつぶされた見た目から「パンケーキクラッシュ」と呼ばれる極めて危険な現象が相次ぎ、人的被害が拡大した。建築基準法で耐震基準が定められている日本では、同じような被

年1月の阪神大震災で次々と倒壊し、2016年4月の熊本地震でも強度不足を露呈した。

「阪神」を教訓に全国の自治体が補助制度を設け、旧耐震の改修支援に力を注いだ。しかし、約20年を経た「熊本」で、その解消がなおも途上であることが浮き彫りになったのである。

神奈川県の場合、県内の住宅耐震化率（耐震性能を持つ住宅の割合）は2020年度時点の推定で94%。全国的にも高い数字で、県はおおむね計画通りに耐震化が進んでいるとしている。

とはいえ内訳をみると、共同住宅の耐震化率は98%まで高まったのに対し、一戸建ては89%にとどまる。家主が高齢化し、改修の費用負担が重くなっていることが低迷の背景だ。改修の動きは年々鈍くなっており、耐震性不足の住宅を「2030年度までにおおむね

解消する」との目標を掲げた計画の達成は容易でない。

加えて、現行の基準を満たす「新耐震」であっても80年代前半に建てられたものは築40年前後となり、老朽化の影響が危惧される。熊本地震では、新耐震のマンションでも大きな被害が生じ、大規模半壊と判定されたケースがある。

揺れに強い建物を増やすことは地震対策の「一丁目一番地」だ。水やトイレの備蓄も大切だが、生き抜かなければ意味をなさない。

10万5千人余りが犠牲になった関東大震災から今年9月で100年。東京や横浜の被害を拡大させた大規模火災は、建物が次々とつぶれたことがきっかけだった。過去の教訓に学び、今の備えに生かす。心がけるだけでなく、実践につなげる一年としたい。

（神奈川県新聞社報道部
地域報道統括部長・渡辺 渉）